

# 大学内での生活会話習得を目指した日本語デジタル教材の開発

渡辺啓太\*1・佐藤周\*2・井川大介\*3・末繁美和\*4・久保比呂美\*4・亀丸俊一\*1

Email: f1110801365@std.kitami-it.ac.jp

- \*1: 北見工業大学工学部情報システム工学科  
 \*2: 北見工業大学大学院工学研究科情報システム工学専攻  
 \*3: 北見市立東相内中学校  
 \*4: 北見工業大学

◎Key Words デジタル教材, 日本語教育, 留学生教育

## 1. はじめに

北見工業大学には、2015年5月現在、88名の留学生が在籍している。<sup>(1)</sup>なかでも短期留学生においては、母国での日本語学習経験が半年未満で来日する学生が多い。その学習方法は独学なども多く、体系的に日本語を学習した経験がないものが多い。佐賀大学でも同様な研究が進められており、日本に来て半年未満の留学生に対して、アンケート調査が行われている。来日前に日本語を勉強した期間については、まったく勉強しなかった学生と半年未満の学生が約40%を占めていた。(図1)<sup>(2)</sup>

一方で、留学生が接する大学内の事務スタッフは、留学生の母語或いは英語でのコミュニケーションをとれるものは少なく、学内での事務手続き等に困難を感じる学生が少なくない。しかしながら、事務手続きは学生生活を通して必要不可欠なものである。事務手続きで使用される語彙や表現は、特定のものであるため、それらを事前に学べば対処可能であると考えられる。

そこで、留学生が不安を感じることなく学内でのサービスや事務手続き等を日本語で利用できるような、生活会話の習得やサポートを目指すデジタル教材の開発に至った。

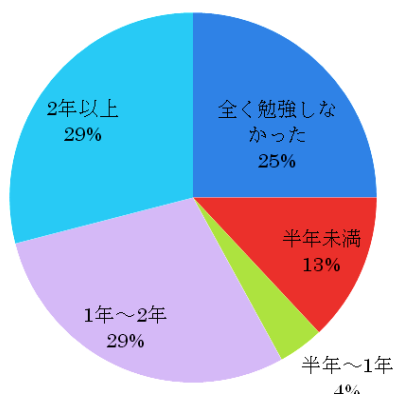


図1 来日前に日本語を学習した期間

## 2. デジタル教材の相対的優位性

デジタル教材の場合、従来の紙媒体の教科書と比較すると、学習者にテキストとともにジェスチャー・視覚・聴覚を一体化するインタラクティブ要素を、1つ

にまとまった形式で提供できる。この点で、デジタル教材には大きな期待が寄せられている。よって、相対的な優位性は高いと言える。この優位性を十分に活かすことができれば、学習者の関心を惹き、学習意欲を向上させることができるといえる。デジタル教材の作成に当たっては、優位性を十分に生かすための配慮が必要であり、また読み手としての学習者の体験を中心に設計する必要がある。

一方で、紙教材に愛着を示す学習者も少なくないと考える。その理由としては、使い慣れた筆記用具を用いることができ、メモやアンダーライン、手書きの文字や図形等を直接記入することができるため、学習しやすく記憶に残りやすいという点が挙げられている。確かに、多くの試作教材や大手の出版社が販売しているデジタル教科書には、必ずデジタルメモの機能が含まれている。この機能は客観的に考えれば、教科書を読みながらキーボードや手書きのパレットなどでメモを取ることは、非常に便利であると思われる。しかし、デジタルメモや文字入力技術がさらなる進化を遂げなければ、使いやすさという点においては及ばないため、しばらくは、デジタル教材と紙のノートとの併用が学習者の高い支持を得続けると考えられる。<sup>(3)</sup>

## 3. 日本語教育におけるデジタル教材の利点

日本語教育において、デジタル教材の利点は多くあると考える。その理由としては、紙媒体の教材では用いることのできない、音声、動画を用いることができ、これによって学習者の興味を惹くことが出来る点が挙げられる。また、個人で学習する際に視覚、聴覚を一体化した学習が可能であるという点にも注目したい。

言語学習においては、他科目と違いどうしても発音等の学習が必要である。個人学習等の指導者がいない場合での学習では、紙媒体の教科書で学習する際に、別にリスニングCDを用いる必要がある。

一方で、デジタル教材においては、この機能の一つにまとまった形式で提供することが出来る。また、モデル会話等を動画で導入することで、より学習者の理解を助けることが出来ると考える。

#### 4. 日本語デジタル教材

本教材で扱う場面は、大学における窓口の事務手続きを想定している。その例としては、在留カード、パスポート等のコピー、資格外活動などの手続きなどが挙げられる。これらを想定した理由は、実際に著者が参加した初級日本語の講義で留学生に尋ねた際に、学生生活で困る点として挙げられていたことと、日本語の講師からの要望があった為である。

今回作成するデジタル教材の内容は、以下の4つである。言語は日本語と英語を用いる。

- ① モデル会話 (図2)  
日本人と留学生の実際の会話動画を収録し、そのスクリプトを提示する。スピーカマークが再生ボタンとなっており、これを押すと日本語の音声を再生する。
- ② 語彙の意味・練習 (図3)  
モデル会話で扱う語彙を、英訳とともにリスト化する。それぞれに、スピーカマークを配置し日本語の発音を再生することができる。また、理解と定着を図るために、語彙リスト、字形と音、意味をマッチングするための語彙練習を提示する。
- ③ 文法の説明・練習 (図4)  
重要な文法について説明する。文法の用法や形を定着させるための練習問題を提示する。スピーカマークを押すと日本語の発音を再生することができる。
- ④ 会話練習 (図5)  
モデル会話に当てはめた会話練習を行うことにより、実際の場面で会話ができるようにサポートする。

場面(Scene): 事務室(Office)

**・モデル会話(Model Talk)**

事務員: 李さん、今、在留カードとパスポートを持っていますか

学生: すみません。今持っていません。

事務員: 分かりました。明日持ってきてください。保険証と学生証のコピーも取りたいので、できたら一緒に持ってきてください。

学生: はい、分かりました。

モデル会話の動画とスクリプトを提示

図2 モデル会話例

場面(Scene): 事務室(Office)

**・語彙リスト(Vocabulary List)**

在留カード(名詞) .. residence card

パスポート(名詞) .. passport

持つ(動詞) .. have

保険証(名詞) .. insurance certificate

学生証(名詞) .. student card

コピー(名詞) .. copy

語彙リスト、字形と音、意味をマッチングするための語彙練習

選んでください。(Please Select Answer)

①在留カード

1. Passport 2. copy 3. student card 4. take

図3 語彙リスト例

場面(Scene): 事務室(Office)

**・文法(Grammar)**

在留カードとパスポートを持っています。

◆テ形

1グループの動詞: もちます⇒もって

2グループの動詞: みます⇒みて

3グループの動詞: くる⇒きて  
する⇒して

◆「～ています」は、結果の持続を表します

重要な文法説明、用法や形を定着させる練習

練習: テ形にしてください

①私は、パスポートを(持ちます)。

②私は、北見に(住みます)。

図4 文法例

場面(Scene): 事務室(Office)

**・会話練習(Conversation Practice)**

事務員: 李さん、今、在留カードとパスポートを持っていますか

学生: \_\_\_\_\_

事務員: 分かりました。明日持ってきてください。保険証と学生証のコピーも取りたいので、できたら一緒に持ってきてください。

学生: \_\_\_\_\_

モデル会話に当てはめて会話できるようになる

図5 会話練習例

#### 5. おわりに

本稿では、北見工業大学における留学生の現状を踏まえ、デジタル教材の相対的優位性と日本語教育におけるデジタル教材の利点を考察し、そして我々が開発を進めている、事務手続きの場面を想定した、留学生に対する大学内での生活会話習得を目指したデジタル教材の開発について述べた。

最終的には、北見工業大学に特化したもの、すなわち本学の紹介、北見での生活等、オリジナルの内容を盛り込んだものを作成したいと考えている。また、持ち運び可能なタブレットやスマートフォンで動作可能なアプリケーションの作成を構想している。

日本語教員や留学生との話し合いの場を作り、教員、学習者という異なる立場からの意見を得ることが出来たことは、非常に有意義なことであったように思う。本研究が、留学生にとって少しでも大学生活を有意義に送る為の助けとなれば幸いである。

#### 参考文献

- (1) 北見工業大学事務局企画広報課: “国立大学法人北見工業大学2015 大学概要”, (2015)
- (2) 穂屋下茂, 早瀬郁子, 城保江, 藤井俊子, 久家敦子, 早瀬博範: “来日前の留学生のための ICT を活用した日本語学習教材の開発”, 佐賀大学全学教育機構紀要, 創刊号, pp.13-21 (2003).
- (3) Alberizzi Valerio Luigi: “大学教育におけるデジタル教科書の意義と可能性—外国語教育を中心に—”, コンピュータ&エデュケーション vol.36, pp.11-17 (2014).